令和８年　黒部市教育委員会７月定例会　議事録

日　時	令和８年７月28日(火) 午後３時00分～午後４時15分
場　所	黒部市役所市民交流サロン１
出席者	教 育 長　齊藤　誠 教育委員　吉澤　浩司 教育委員　村田　博史 教育委員　松井　美之 教育委員　坂本　真由美 教育部長　桐　義輝 学校教育課長　浦田　武治 生涯学習文化課長　幸林　理恵 スポーツ課長　米澤　信二 図書館長　舘野　敬子 こども支援課長　高野　正規 学校教育班長　矢木　浩樹 学校給食センター所長　松平　真由美 歴史民俗資料館長　宮崎　千夏 図書館　主幹　奥村　美奈子 学校教育課主幹　山田　真澄
傍聴人	なし

（会議冒頭「市民憲章」朗唱）

教育長　ただいまから、黒部市教育委員会７月定例会を開会します。「議事録の署名について」は、私が署名します。次に、「６月定例会の議事録」について、訂正・質問等がありましたらお願いします。

委員　（質問なし）

教育長　質問等がないようですので、記載のとおりといたします。
次に「４　教育長報告」をいたします。

１　所管事業の状況報告について（行事等）
(1)　７月５日(日)　第21回黒部市民スポーツ大会
野球、ソフトボール女子、ビーチボール、テニス、柔道、バドミントン、卓球、パークゴルフ（市内一円）
(2)　７月７日(火)　令和９年度予算に対する国・県への重要要望活動(富山県庁)
(3)　７月12日(日)　第21回黒部市民スポーツ大会
ソフトボール男子、ソフトテニス、相撲、バレーボール男子、バレーボール女子、水泳（市内一円）

２　出席した会議等の概要報告について
(1)　７月２日(木)　第１回図書館協議会（あおーよ）
(2)　７月11日(土)　親学び講座研修会（清明中学校）
(3)　７月13日(月)　第１回黒部市スポーツ推進審議会（市役所）
(4)　７月14日(火)　富山県市町村教育委員会連合会 理事会・総会及び研修会

（Toyama Sakuraビル）

⑸　７月22日(水)　第１回黒部市社会教育委員会（市役所）
⑹　７月22日(水)　黒部市美術館協議会（市役所）
⑺　７月28日(火)　第２回黒部国際化教育推進協議会（市役所）

３　所管事務に関する問題・情報等について（児童生徒の安全･安心に関すること）
〔前回会議以降、今回会議までの間〕
⑴ 児童生徒の交通事故等（２件）
⑵ 学校事故等　（５件）
⑶ 不審者情報等（２件）
⑷ 鳥獣出没情報（４件）

４　いじめの認知件数及び指導の経過（６月報告分）
⑴ 小学校（新規認知件数０、指導中15、解消６）
⑵ 中学校（新規認知件数０、指導中１、解消０）

５　不登校児童生徒数（６月報告分）
小学校15人/中学校30人/計45人
※月末で当該年度中の欠席日数が30日以上となる児童生徒を計上

６　教員の時間外在校等時間について（６月報告分）
⑴ 小学校 平均時間外在校等時間 45.6時間/45時間以上の割合 54％
⑵ 中学校 平均時間外在校等時間 52.7時間/45時間以上の割合 62％

７　令和８年度在籍児童生徒・園児数（令和８年７月１日現在）
⑴ 小学校　児童数 1,718人（前月比 ±０人）
⑵ 中学校　生徒数　935人（前月比 ±０人）
⑶ 幼稚園　園児数　16人（前月比 ±０人）

８　感染症関連情報　０件

教育長　以上、教育長報告でありますが、確認、質問等がありましたらお願いします。

委員　在籍児童・生徒・園児数及び学級数について質問させていただきます。これからはグローバル化が進み、外国人児童生徒も増えることが予想されます。児童・生徒・園児及び学級数の報告に、外国人児童生徒数を明記できないかと思います。日本国籍、日本以外の国籍の児童生徒数を明記していただければいいのではと思います。

学校教育班長　国籍を２つ持っている児童生徒も含めて、国籍別の児童生徒数は把握しています。

教育長　学校毎の国籍別の児童生徒数は統計として把握はしておりますが、この報告に記載するかどうかは一度検討させていただきたい。

委員　外国人児童生徒数を記載することにより、色々な意見が出ると思います。教育運営上、必要な教員がでてくるのではと質問しました。

学校教育班長　外国人相談員、日本語指導員については、支援が必要な児童生徒には援助をするということになっております。外国籍、また、日本国籍であっても日本語指導が必要な児童生徒については県に報告し、県から状況等に応じて相談員が配置されます。市からも予算措置してもらうようお願いしております。

教育長	今、委員から提案いただいたとこにつきましては、該当する児童生徒がどれくらいいて、どのような支援をしているのか、一度お示ししたいと思います。
委員	不登校児童生徒数について、４月に一度リセットされてそこから30日以上の児童生徒が積算されていくということで、これくらいの時期から不登校児童生徒数が増えていくというのは重々承知しておりますが、小学生15人、中学生30人とそれなりの人数になっています。その様な中で、全くコンタクトが取れていない児童生徒は何名おられるのか。１日も登校していない児童生徒数も把握はしておられると思いますが、やはり増えてきているのか、そういった児童生徒に対して何とか減らしていこうと色々な方法でコンタクトをとろうとしておられると思いますが、特に今年度新たな取組があれば教えていただきたい。
学校教育班長	「誰一人取り残さない」の理念のもと、誰とも関わりのない児童生徒をなくそうということで、児童生徒は難しくても、保護者への関わりを続けている学校もあると聞いております。また、今年度は８月10日に校内教育支援センターの支援員７人、市の教育支援員、教育センター、学校教育課の職員あわせて15人ほどで意見交換会を計画しております。意見を交換し合う中で、取組を共有し、生かしていきたいと考えております。
委員	確認ですが、コンタクトの取れていない児童生徒はいないということでよろしいでしょうか。
学校教育班長	コンタクトのとれていない児童生徒は０人です。必ず保護者等とは関わっております。
教育長	委員から大変重要な質問をしていただきましたが、６年生に不登校が多いのは、この後中学校に行く準備をしなくてはならないので、どのようにして中学校への道をつけるかということは、学校の大きな課題であります。そのため担任はもちろん、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの力も借りて家庭に歩み寄るという取組をしています。なかなかシャッターが開きにくい家庭もあるようでありますが、電話連絡をするなり、プリントを届けるなり確実に線がつながるよう工夫をしております。夏休みがありますが、学校は何ができるのか、どの様にしていけばよいのか、じっくりと取り組める機会でありますので、学校と相談しながら進めたいと思っております。
委員	最近、不登校が始まる時期の低年齢化が見受けられます。以前は中学生が多く、最近は小学校低学年、そしてだんだんと小学校１、２年生の低学年から始まる場合も多いです。ですので、小学校に入った時の状況、それから６年生の不登校は５年生の時から多かったという話ですが、４年生から５年生に上がる時に増えたのか、それともやはり少しずつ順番に増えたのか、そこら辺もみながら対応していかなければならないと思っております。中には、５年生になると高学年になって学校のリーダーになるのだから頑張らなくてはというようなプレッシャーで辛くなってという子もいます。色々なお子さんがおられますので難しいのですが、また一人一人みていっていただければと思います。
学校教育班長	一人一人の特性を理解して向き合って、よいところを見付けて、その力を高めていけるように支援していきたいと思います。
委員	８月10日に校内教育支援センター支援員と意見交換会をされるとのことでしたが、不登校の要因の一つとしてＬＧＢＴＱが話題になることはないと思います。身体測定や持ち物を少し気にかけて話を聞いてみて情報共有されたらよいと思います。
教育長	多様性の包摂ということが、次の学習指導要領に大きく取り上げられると聞いてい

	ます。 多様性を包摂しましょう、共生していきましょうという方向に動いておりますが、なかなか難しい領域ではあると思います。不登校の低年齢化という部分につきましては、こども支援課と協力しながら、幼保小連携事業で、階段を低くするということが大事であります。学校に慣れ、リズムを整えることによって低学年の不登校を未然に防ぐ、初期対応ができるというところに市として力を入れております。まず、一人一人をどう把握していくかというところが大事であり、あらゆる手を打ちながら進めていくべきだと考えています。
委員	保護者として不登校の低年齢化は感じています。けれど低学年は少ないです。自分の子どもの学校はそんなに児童数が多くないのに不登校が多いです。５年生のときから多かった。５年生の時に不登校になった児童が１人おられたが、理由はいじめではなく、担任の先生が嫌だったからでした。また、別の子の話ですがクラスで２人不登校になった。原因は分かっているのに、１人目に不登校になった子のときにトラブルを把握していたにも関わらず、どうして２人目の不登校を防げなかったのか。担任の先生も大変だと思いますが、もう少し何かできなかったのかと感じています。
教育長	不登校の子に理由を聞くと、２つか３つの理由が複合していることがあります。大人が思っている以上に理由があって、色々な要素が絡まっているということを考えながら対応していく必要があると思います。子供が最初につまずいた時に、解決しないまま時間だけがたっていって、さらにその要因が大きくならないように初期対応をする必要があります。担任だけでなく、学校全体で、必要であれば教育センター、市の教育委員会、県の教育委員会の力も借りて進めていく必要があると考えています。 昨年度、中学校に校内教育支援センターを設置しましたが、数字をみますとなかなか厳しい、現実は甘くないと思いますが、とにかく打てる手を打っていく。前にも言いましたが、中学校２年生の時に百何十日、学校に行けなかったのが、今欠席が０日になった生徒も実際にいます。うまくいった例もあり、それは何がよかったのかということも分析しなければならないと思いますし、逆にノーマークだった生徒の欠席が増えてしまったという例もありますので、校内教育支援センター支援員の生の声を集めて、校長会にも共有していく必要があると思います。
教育長	他に確認、質問等ありましたらお願いします。
委員	（質問等なし）
教育長	次に「５　議案」に移ります。「議案第17号　教育課程特例校の指定の継続について」事務局より説明願います。
学校教育課長	「議案第17号　教育課程特例校の指定の継続について」であります。教育課程特例校は、学校教育法施行規則基づいて、指定する学校において学習指導要領の教育課程の基準によらない特例の教育課程を編成することを認めるものです。本市におきましては、国際化教育を推進するため平成21年度から特定校の指定を受け、総合的な学習の時間の一部を削減し英会話科の授業時数に充てて授業を行っているところであります。議案第17号につきましては、引き続き国際感覚と実践的なコミュニケーション能力を有し社会に貢献できる人材を育成するため、令和９年度におきましても各中学校において、教育課程特例校として英会話科を継続実施することを確認いたしたく本定例会で議決を求めるものであります。
教育長	今ほどの説明について、質問等ありましたらお願いいたします。
委員	英会話科はぜひ推し進めてしかるべきと思います。英会話は非常に重要になってく

	ると思います。具体的に言うと１年生、２年生の25時間というのは少ない、２倍の時間数でもよいのではないかと思います。この議案には非常に賛成します。また、時間数について検討していただけたらと思います。
委員	私もこの議案には賛成です。少なくとも25時間は他の市町村の中学校と比べて多いということだと思いますが、結果として点数が高いですよとか、何かエビデンスがあればお聞きしたいと思います。また、他の市町村と変わらないですよということであれば、委員が言われたとおり、もっと時間数を増やしてもよいのではと思いますがいかがでしょうか。
教育長	全国学力学習状況調査がこの間終わりまして、結果につきましてはお示しできる時期がきましたらお伝えさせていただきます。今のところ、把握している範囲では、全国から比べて低いというものではありません。特例校の指定を受けてから、どう変わったのですかと聞かれたときに、数値的に変わりました、毎年黒部は右肩に数値が上がっていますとはなかなか言いにくいところがあります。実感として捉えていることを話したいと思いますが、一つ目は、本市の生徒はスピーキングの時にヘッドセットを付けて話しますが誰一人不安な顔をせず、あっという間に答えます。心配な時は不安でちらちらし始めますが、誰一人そのような子はいませんでした。書く力や読む力は分かりませんが、聞く力は確実に高いのだなと思いました。平成18年からいわゆるネイティブのＡＬＴと話をしている。英会話、英語の生の声に触れる機会が多い。特に小学校は、ＡＬＴとＪＡＴと担任の３人で授業をしているので、３倍の量をこなすことができます。ですので、アンケートをすると、英語が楽しい好きだと言ってくれます。それは昨年のアンケートも同様で、本市としては特例校を実施していることはプラスになっているということが言えます。二つ目は、英会話の授業の後に、中学生はスピーキングテストを１対１でします。それが評価となります。小学生は、図書室でＡＬＴとエンジョイトーキングという名前でやります。エンジョイトーキングの時は心配だろうと思っていたら、ＡＬＴと子供達は関係が築かれていて、子供達は会話を何往復もできるくらい、積み上げてきたものがあると言えます。三つ目、昨日、姉妹都市交流研修のメーコン・ビブ郡派遣の生徒20人が市役所で研修をしました。国際化教育推進協議会の会長からお話がありました。一言英語で言うだけでなく、もう一つ用意をしとくようにと。 黒部のよいところ、自分の好きな場所、それを英語で言えるようになって行くよと言われて、生徒20人皆がやるぞって表情をしていました。これこそがコミュニケーション力につながります。昨年はメーコンの生徒を受け入れて、今年は黒部市の生徒の派遣が９回目になり、繋がっていっていると感じています。英会話科の時間数につきましては、学校とも相談しなくてはなりませんが、内容の充実は図っていきたいと思います。総合的な学習の時間では14歳の挑戦や北方領土についての学習など色々な学習をしていますので、その兼ね合いは中学校長会とも考える必要があります。
教育長	議案第17号について、他に確認、質問等ありましたらお願いします。
委員	（質問等なし）
教育長	それでは採決をいたします。議案第17号について、原案の通り決することにご異議ありませんか。
委員	（異議なし）
教育長	ご異議なしでありますので、議案第17号は原案の通り決しました。 次に「６報告」に移ります。 「報告第２号　課等の事業報告（経過・予定）について」報告願います。

学校教育課長

〔経過事業〕
○７月１日　永年勤続教職員表彰伝達式（勤続20年・30年）
○７月７日　令和９年度予算に対する国・県への重要要望活動
○７月14日　富山県市町村教育委員会連合会 理事会・総会及び研修会
○７月28日　教育委員会７月定例会

〔予定事業〕
○８月６日　富山県市町村教育委員会連合会 県教育行政に対する要望事項策定委員会
○８月19日　英語サマーキャンプ（～20日）
○８月24日　幼保小接続研修会
○８月25日　教育委員会８月定例会
○８月27日　通学路合同点検
○８月27日　第67回黒部市教育振興協議会

〔経過事業〕（学校給食センター）
○７月３日　第１回地場産学校給食の日
○７月10日　ジオパーク給食

〔予定事業〕（学校給食センター）
○８月19日　給食施設における衛生管理講習会

生涯学習文化課長

〔経過事業〕
○７月10日　公益財団法人黒部市吉田科学館振興協会第３回理事会
○７月11日　親学び講座研修会
○７月18日　企画展「五感で読む石ころ展」（～9月27日）
○７月18日　「クロビ・郷土ゆかりの美術展「ゆかり」っちゃ、なんけ？」（～9月23日）
○７月22日　第１回黒部市社会教育委員会
○７月22日　黒部市美術館協議会
○７月26日　中陣のニブ流し

〔予定事業〕
○７月31日　第21回特別展「姉妹都市根室と黒部」（～12月20日）開会式
○７月31日　第１回黒部市文化財保護審議会
○７月31日　第１回黒部市伝統文化活性化事業運営協議会
○８月１日　尾山の七夕流し
○８月４日　第２回黒部舞台芸術鑑賞会実行委員会
○８月29日　第５回黒部踊り街流し

スポーツ課長

〔経過事業〕
○７月５日　第21回黒部市民スポーツ大会
　野球、ビーチボール、テニス、柔道、バドミントン、卓球、パークゴルフ
○７月12日　第21回黒部市民スポーツ大会
　ソフトボール男子、ソフトテニス、相撲、バレーボール男女、水泳
○７月13日　第１回黒部市スポーツ推進審議会
○７月28日　第47回北信越中学校総合競技大会出場黒部市選手激励壮行会

〔予定事業〕

	○７月31日　カーター記念黒部名水マラソン第３回実行委員会 ○８月14日　夏季区民体育大会激励巡廻（内山） ○８月14日　夏季区民体育大会激励巡廻（愛本） ○８月15日　夏季区民体育大会激励巡廻（音沢）
図書館長	〔経過事業〕（あおーよ図書館） ○７月２日　第１回図書館協議会 ○７月８日　富山県立にいかわ総合支援学校中学部職場体験 ○７月９日　越谷市議会視察受入れ ○７月22日　富山県高等学校図書館協議会視察受入れ 〔予定事業〕（あおーよ図書館） ○８月21日　図書館お仕事体験（２回目）小学５・６年生対象、定員６名 ○８月23日　「夏休み上映会inあおーよ」 〔予定事業〕（宇奈月図書館） ○８月22日　夏休み おたのしみ会
こども支援課長	〔経過事業〕 ○７月７日　七夕の集い・ひよこクラブ（未就園児子育てサロン） ○７月21日　避難消火訓練（地震から津波：引き渡し訓練） ○７月24日　第１学期終業式 ○７月24日　交通安全指導（夏休み中の交通安全／安全な遊び場と遊び方） 〔予定事業〕 ○７月29日　第73回全国国公立幼稚園・こども園教育研究協議会 第38回東海北陸国公立幼稚園・こども園教育研究協議会愛知大会 ○８月24日　幼保小接続研修会
教育長	各課からの報告がありましたが、質問等があればお願いいたします。
委員	（質問等なし）
教育長	それでは、「７　連絡事項等」について、事務局からお願いします。
学校教育課長	¶　８月定例教育委員会 【開催日】８月25日(火)【時間】午後１時30分【場所】市民交流サロン１ ¶　９月定例教育委員会 【開催日】９月30日(水)【時間】午後１時30分【場所】市民交流サロン１ ¶　総合教育会議 【開催日】11月27日(金)【時間】午前１時30分【場所】202・203会議室
教育長	事務局から日程説明等がありましたが、皆様には調整方よろしくお願いします。 それでは本日の会議をこれで閉じたいと思います。お疲れ様でした。

上記、議事録の正確なることを証するために、次に署名する。

令和８年８月25日

署名人　黒部市教育委員会　教育長　　齊藤　　誠